

鯖街道 熊川宿

令和7年8月1日発行

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県三方上中郡若狭町熊川
TEL/FAX (0770) 62-0330



熊川宿ホームページ <https://kumagawa-juku.com>



最後まで最高! さようなら 熊川小学校

～ 令和7年3月20日(木・祝) / 熊川小学校閉校式 & 閉校イベント ～

瓜生小学校との統合に伴い、一五〇年の歴史が残る熊川小学校の閉校式と閉校イベントが開催されました。

若狭町主催の閉校式は、午前中、国歌斉唱、渡辺若狭町長の式辞、若狭町議会議員・加藤学校長・児童代表の挨拶、校歌斉唱、校旗降納・返納、閉会のことで進められました。

実行委員会が1年前から準備を進めてきた閉校イベントは、午後から始まり、会場には児童たちの絵画や町並みマップの他、昔懐かしい熊川小学校や卒業生の写真三五〇枚が展示されました。

初めに中尾和徳実行委員長が、緊張気味に昔を振り返りながら開会の挨拶をされました。

閉校イベントは、1限目の国語から4限目の体育まで授業風の構成で進められました。

放課後には今までの感謝と新しい門出を記念して紙テープ飛ばしが行われました。1階から「ありがとう熊川小学校!」、2階から「最後まで最高!」、3階から「さようなら、熊川小学校!」の掛け声とともに、校舎からグラウンドに向かって六〇〇本の紙テープが投げられました。

帰りの会(お別れ式)は、校歌斉唱に続いて、校長と児童代表があいさつされました。加藤勝代校長は「熊川小学校で学んだ足跡をそれぞれがこれからの人生に残していきましょう。児童代表の新野太朗君は「最後にとっても良い思い出ができてよかったです」とスピーチされました。

(2ページに関連記事)

目次

最後まで最高! さようなら熊川小学校……	1
寄稿文・熊川小学校閉校記念事業……	2
お店紹介・寄稿文・お知らせ……	3
事業報告・事業計画……	4
活動報告・NEWS・話題……	5・6

熊川宿に移住して

令和7年度 熊川区長 檜 鼻 裕 人

らせています。昨年
には『日本遺産プレ
ミアム』に選定され

私は十六年前に小浜から結婚を
機に妻の実家である熊川に來させ
ていただきました。当初は、熊川
に馴染めるか不安なことも多々あ
りましたが、区民の方から自衛消
防団に誘って頂き、団の活動を通
じて地区行事に参加することで熊
川での生活に馴染めることができ
てきました。暖かく接して頂いた
区民の方々には非常に感謝してお
ります。まだまだ熊川のことは解
らないことが多いですが、これか
ら熊川区民のひとりとして生活
していきたいと思っています。

熊川宿は重伝建に選定されたあ
と、町並みの整備は順調に進み、
まちづくり活動も活発に進めら
れ、数多くの人々に親しまれ日々
成長しております。この素晴らし
い町並みの中で数々の店舗が立ち
並び、風情ある景観を浮かび上が

たことにより、更なる注目を集め
たことで熊川区内の来訪人口が増
え、益々魅力のある地域となりま
した。今後も来訪者に来て良かつ
たと言って頂けるようなまちづく
りをしていき、熊川宿を中心に誇
りある伝統をこれからも継承し、
先代の築いた素晴らしい文化を
守っていききたいと思っています。

また、本区におきましても全国
的な少子高齢化の波が顕著に押し
寄せてきております。今後の熊川
区において、『持続可能な区運営』
を目標に、将来への負担軽減と伝
統の継承をしていきたいと思いま
す。

熊川宿は観光地である以前に、
ここで暮らしている人がいて、そ
の生活に支障をきたすようでは意
味がないと思っています。熊川宿
を無理に観光地へ押し進めるので
はなく、訪れた人には、ゆったり
とした時間が流れる場所として、
さらに区民の皆さんの安全で安心
な暮らしやすい生活を守りつつ、
先代からの遺産である、伝統的な
美しい町並みを後世に継承されて
行くことを願っております。



◆熊川小学校閉校イベント

熊川小学校閉校記念事業実行委
員会では、イベント部会と編集部
会を立ち上げ、一年前から閉校の
準備を進めてきました。

イベント部会は、3月20日に行
われた閉校イベントの企画から運
営を担い、当日は授業
風のシチュエーション
で進められました。

編集部会は、閉
校する熊川小学校
の足跡を残そう
と、閉校記念誌と
DVDを制作しま
した。

記念誌には、卒

業写真や卒業生名列、
恩師はじめ地域の方か
らのメッセージ、卒業
生コメント、時代ごと
のスナップ写真、閉校
式や閉校イベントの様子な
どを掲載しました。

DVDには、チャンネルOや
MMネットの協力のもと、学校行
事や地域学習などのニュース映像
も収録させていただきました。

なお、熊川小学校同窓会は、令
和7年6月をもって解散いたしま
した。長年にわたりご協力いただ
きありがとうございました。



閉校記念誌・DVD



子ども語り部

◆熊川小学校と地域との関わり

熊川小学校の児童たちには、熊
川区やまちづくりに対して、これ
まで多くの行事やイベントに参
加・協力いただいてきました。

地域学習としての「子ども語り
部」をはじめ、ホタルの育成、祭
り囃子や熊川音頭の継
承、松木神社の清掃、
葛の寒晒し体験等々、
自然豊かで歴史ある熊
川宿の伝統文化を学
習、体験して来られま
した。

なかでも平成18年頃

から始まった「子ども
語り部」は、児童たち
が自らの視線で熊川宿
の名所やお店を調査
し、まとめあげ、学習
発表会や熊川いっふく
時代村、全国規模のま
ちづくり大会など、多
くの聴衆の前で元氣

いっぱい堂々と発表され、毎回好
評を得ています。それは子どもた
ちの自信となり、親御さんや住民
にとっても微笑ましく頼もしい光
景です。

これらは上中小学校になって多
少形は変わっても、是非受け継い
でいただきたいものです。



お店紹介

最近オープンされたお店や施設を紹介しています。



蚕織(織体験)

①熊川宿でお店を始めようと思われたきっかけは？

日本遺産プレミアムに認定された熊川宿をもっと盛り上げるために何かで参加出来ると良いなあと以前から考えていました。

②熊川宿の印象は？

昔ながらの宿場町の佇まいが残り、とても良い空間ではあるのですが、放置され空き家になっている建物が目に映るので、裏寂しさを演出してしまっている所が残念です。

③お店のおすすめ商品やPR情報を教えてください。

昭和の初期には身近だった蚕ですが今はなかなか目にする機会もなくなりました。そんな蚕の繭から糸を作り、どうやって布になるかを知っていただける体験になります。

◇プロフィール

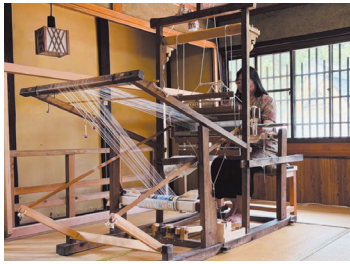
業 種：織体験

所在地：上ノ町(リサイクルうさぎ2F)

T E L：090-2034-5777

営業日：土・日曜日(不定休あり)

営業時間：10:00～15:00



2025
SPRING
OPEN

THEE COFFEE

①熊川宿でお店を始めようと思われたきっかけは？

街の風通しがよく、素晴らしい景観と美味しい水・作物にめぐまれ、日本の文化と触れるチャンスだと思いました。

②熊川宿の印象は？

東京から来たわたしたちにも優しく気さくにあたたかく迎え入れてくださって感謝しています。

③お店のおすすめ商品やPR情報を教えてください。

ジャズのレコードとコーヒーをぜひお楽しみください。



◇プロフィール

業 種：ジャズ喫茶

販売品目：コーヒー・カレー・カヌレ

所在地：中ノ町

T E L：080-5463-3383

定休日：火曜日

営業時間：月～木曜日10:00～18:00

金～日曜日10:00～21:00

Instagram：@theecoffee24

2025
6/4
OPEN

お知らせ



熊川番所が 無料開放になりました

熊川宿の東側(京都側)入口にある熊川番所が、今年度から無人化に伴い無料開放し、正門と通用門を通り抜けるようになりました。熊川番所は全国の伝建地区で元位置のまま現存する唯一の番所です。通り抜けを可能とし、ガラス越しに内部展示物や資料をご覧ください。

開館時間：9:00～17:00



宿場館：休館日変更のお知らせ

月曜日も開館しています。

休館日：年末年始

ただけることはもちろん嬉しいことですが、往復路で地域のみなさまから暖かいお声をいただけてますことも大変励みになっております。ほんとうにありがとうございます。

まだまだ未熟で、知らないことも多くございます。今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。

語り部活動を通して

かみなかの語り部 森 岡 寿 美

語り部として活動させていただくようになり、三年あまり。上中で生まれ育ち人生の大半を過ごしているというのに、お恥ずかしながら熊川宿の歴史や建造物、そして町並み保存のこと等ほとんど知らずにおりました。

ご案内にあたり学べば学ぶほど、熊川の皆様の素晴らしいお取り組みがあつてこそこの今日であると痛感いたしておりました。全国各地からいらつしやるお客様に熊川のこ

います。ご案内させていただいて困るのは、急な雨風や暴風雪に見舞われたときです。途中待避する場所がないため、雨風をしのぐことが難しく、かなり濡れてしまわれることがございます。この場をお借りして大変申し訳ございませんが、そのようなときにはやむなく軒先をお借りいたします。ご無礼をお許しただけましたら幸いです。

観光にお越しいただいた方だけでなく、地元若狭の方々にも素晴らしいこの熊川宿のことをぜひ知っていただきたい、後世にも伝えていただきたいと心から願っております。

熊川宿まちづくり総集会

とき…令和7年2月16日(日)
 ところ…熊川児童館
 主催…熊川区・若狭熊川宿まちづくり特別委員会

若狭町から渡辺町長、二本松副町長、小堀県議会議員をはじめ、多くのご来賓の皆さまにお越しいただきました。

宮川副会長の司会で開会。入江区長、渡辺町長、小堀県議の挨拶に続き、来賓が紹介されました。

第一部は、昨今の山城ブームから、若狭国吉城歴史資料館館長大野康弘氏に「若狭の山城を楽しむ」と題して講演いただきました。

若狭の山城や熊



続いて、(株)デキタ代表時岡壮太氏から山座熊川などの近況報告がありました。ペット同伴の比較的年齢層の高い方が多いことや、八百熊川のインバウンド客層の増加、地元の食材を使った商品開発と販売について最新情報



川城について、山城が領地や拠点の防衛にどのような役割を果たしたか、その山城を足軽目線で攻城することや、お城を守る知恵と工夫、お城の築かれている地形を読み解くなどの具体的な楽しみ方と、若狭の山城の魅力を紹介いただきました。

続いて、(株)デキタ代表時岡壮太氏から山座熊川などの近況報告がありました。ペット同伴の比較的年齢層の高い方が多いことや、八百熊川のインバウンド客層の増加、地元の食材を使った商品開発と販売について最新情報

を報告いただきました。

第二部では、熊川宿まちづくり特別委員会会長宮本哲男氏から今後の取組みについて説明し理解を深めていただきました。

◎観光面から熊川城跡の更なる活用を進める。

◎水辺の小さな自然再生は、多面的に熊川宿の価値を高め、交流人口の増加を図れることから継続して取り組む。

◎近畿風景街道優秀活動賞の副賞を活用し、前川の「かわと」の景観改善を進めたい。

◎熊川宿の財産価値を高める観点からも「倉見屋荻野家」の改修を



進めてほしい。

◎熊川宿若狭芸術祭について、熊川いっぽく時代村や熊川マルシェなど熊川地区のイベントと連携した企画を進めたい。

◎稼観観光地づくり企画「マードーミステリーゲーム」リアル版について、モニターツアーを実施。

◎令和8年11月21日(土)～22日(日)開催の重伝建選定30周年記念事業に向けて取り組む。

懇親会では二本松副町長のご発声で乾杯。オードブルや地元名産の鯖寿司、コンニャクの唐揚げ、しいたけ焼きと巻き寿司をいただきました。今年はまちづくりをみんなで進めるため、子どもさんたちにも声かけし、賑やかな懇親会となりました。

令和7年度 若狭熊川宿まちづくり特別委員会 事業計画 (R7.7)

- 4月15日 まちづくり役員会
- 5月18日 若狭・三方五湖ツーデーマーチ協力(熊川区・女性の会／若狭町主催)
- 5月21日 第1回まちづくり委員会
- 5月24日 「水辺の小さな自然再生」現地研修会(魚類の採取調査)
- 6月9日 街路灯清掃(関電・歴史文化課協力)
- 6月13～14日 体験型マダミスツアー 1公演協力
- 6月14日 ホテル観賞と陶の灯りのタペ(雨で中止)
- 6月29日 セタ飾り
- 7月3～4日 全国伝建協議会総会・研修会(京都市)
- 7月下旬～8月下旬 近畿風景街道 前川かわとの美化活動
- 7月～11月 熊川宿若狭芸術祭実行委員会事業協力
- 8月1日 町並み通信第51号発行
- 8月5日 伝建保存地区保存審議会(若狭町)
- 8月14～15日 街かど陶の灯り展R7(熊川宿陶の灯りの会主催)
- 8月15日 納涼盆踊り(熊川区主催)
- 8月22日 熊川宿若狭芸術祭アーティスト住民交流会
- 8月24日 「水辺の小さな自然再生」現地研修会(北川の生態調査)
- 9月 第2回まちづくり委員会
- 10月上旬 越前若狭お城フェス2025 熊川城関連イベント
- 10月5日 第26回 熊川いっぽく時代村(熊川区・熊川いっぽく時代村実行委員会主催)
- 10月31日～11月2日 全国町並みゼミ(台湾大会)
- 10月中旬 文化庁調査官と語る会(小浜西組)
- 12月 第3回まちづくり委員会
- <令和8年>
- 2月1日 町並み通信第52号発行
- 2月上旬～3月中旬 熊川宿のひなまつり
- 2月 熊川宿まちづくり総集会
- 3月 会計監査・役員会
- <随時>
- ・まちづくり関連視察・研修の受け入れ、研修・交流会などに参加
- ・熊川宿紹介のマスコミ・情報誌への対応
- ・倉見屋荻野家の保全、伝統的建造物の保存修理への協力
- ・宿場内の清掃・整備
- ・ふくい城巡りプロジェクト参加、熊川城跡・熊川トレイルへの誘客PR
- ・移住や出店希望者、空き家提供希望者への支援
- ・一般社団法人・出店者・エリア開発会社「クマツグ」との連携・協力
- ・各部会(町並み対策・広報・活性化・空き家対策)の活動

きました。今年はまちづくりをみんなで進めるため、子どもさんたちにも声かけし、賑やかな懇親会となりました。

そして、昨年「御食国若狭と鯖街道」の日本遺産プレミアム選定に貢献したことにより、若狭町制20周年記念式典で文化功労賞を戴きました。

その副賞を使って「お楽しみ抽選会」を行いました。曾我廼家福輔氏のMCで、大いに盛り上がりしました。

令和7年1月

1/15

阿部文科科学大臣が来訪

(若狭町・熊川宿まちづくり特別委員会対応)



知事要望、小浜市長、若狭町長との懇談に続いて、熊川宿の歴史やまちづくり、地域と連携した新規事業の活動、周辺の自然環境の活用などを説明し、阿部大臣から「地方が元気になるために文科科学省としてしっかり応援させていたきたい」と心強いお言葉をいただきました。

2/2~3/9

熊川宿のひなまつり

(熊川宿まちづくり特別委員会)



年々規模が大きくなり、冬の一大イベントになってきました。1週間の準備期間を設けて今年は30軒に42組のお雛様を飾りつけました。かわいい手作り雛やご家庭で飾られているコンパクト雛、昭和時代の豪華7段飾りまで様々です。

いただいたものが多く、出来るだけ街道から見えるいろいろな場所に分散して設置していますが、新たな展示場所が少なくなってきました。

マスコミ各社の協力もあり、冬季でも来訪される方が増えてきています。下ノ町を中心に夜8時頃までライトアップをしているところもありました。

後半、雪景色とのコラボも楽しめました。



3/1-2

マダミスモニターツアー

(熊川宿まちづくり特別委員会対応)



CO-FUKUI 未来技術活用プロジェクトで、観光地の魅力向上をねらいに、熊川宿でマダミスステリーモニターツアーが開催されました。プレイヤーが物語の登場人物として、ゲームの中で起きる事件を追い、会話を中心に自分たちの手で解決していくゲームで、



(株)Sallyの提案が採択され、熊川宿での実施に結びついたものです。

モニターツアーをXで呼びかけたところ、定員25名に対し140名もの応募がありました。福井県では初めての企画で、若い方がコミュニケーションを図りながら真剣に事件を解決していくのは楽しそうでした。ゲームを通じて熊川宿の魅力を知ってもらうきっかけにもなります。



3/8

伊根浦舟屋群から研修

(熊川宿まちづくり特別委員会対応)



丹後半島の伝建地区「伊根浦舟屋群等保存会」の皆さんが視察にお見えになりました。午前中、小浜西組を視察された一行は、まる志んさんで昼食、児童館で熊川宿のまちづくりについて研修され、若狭町歴史文化課の田辺氏と共に、観光まちづくり、防災などについて説明しました。

3/16

倉見屋荻野家住宅講演会

(若狭町・荻野家応援団)

日本遺産プレミアム選定を記念して開催された歴史環境講座は、最初に、熊川宿古文書研究会で荻野家応援団の岡本潔和氏が、荻野家住宅について解説されました。



お話の中で、明治に入ってからのお家の投資の記録が精密に残っていることや、有価証券保有額などが紹介されました。

その他、国鉄小浜線の開通に伴う事業の変遷など多岐にわたって調査されています。また、文化財を支える人口の減少、教育に関するシステムの問題などもお話されました。重文倉見屋荻野家の早期改修を図りたいと改めて感じました。



4/21

La Festa Primavera 2025

(若狭町)



今年も約60台のクラシックカーが来訪しました。4日目の最終日、京都からおおい町、小浜市、美浜町、敦賀市を経由して熊川宿へ寄られました。今年4月、新たに上中小学校となった5年生の児童17名が手作りパンフレットなどをドライバーの皆さんに配布し、熊川宿のPRをしました。

5/3

白石神社祭礼

(熊川区・白石神社祭礼実行委員会)



新緑が映える好天に恵まれ、春の祭礼が行われました。
前夜の宵宮、午前中の神事に続き、午後から子どもたちが山車に載って祭囃子を奉納しました。その後、囃子と神輿が本陣を出発。大杉から下ノ町まで熊川区内を一巡し、子どもたちも最後まで元気に囃しました。

5/18

ツーデーマーチおもてなし

(若狭町・熊川区)



日本遺産プレミアム「鯖街道熊川宿」の20キロ・30キロコースに参加の皆さんが熊川宿を訪れました。
熊川区役員や女性の会のメンバーが葛湯でおもてなしを実施し、MCの曾我廻家福輔さんがウォーカーの皆さんと楽しいトークを繰り広げました。

5/21

まちづくり委員会

(熊川区・若狭熊川宿まちづくり特別委員会)



令和7年度第1回の委員会で、檜鼻区長、宮本会長の挨拶、来賓でお越しの若狭町担当各課と(株)デキタの時岡代表から近況報告をいただきました。続いて令和6年度事業・決算報告、令和7年度の組織事業計画、予算案を承認いただき、当面の予定について周知・協議を行いました。

5/24

水辺の小さな自然再生活動

(熊川区・熊川宿まちづくり特別委員会対応)



雨天のため予定を「魚類採取」に変更して開催。予めHPからエントリーいただいた45名のうち23名の方が参加されました。
座学の後、実際に河内川に入り、堰下には想定を上回る大量のアカや天然のヤマメを採集することができ、先生方から解説を受けていました。

6/9

熊川宿街路灯の清掃

(熊川宿まちづくり特別委員会対応)

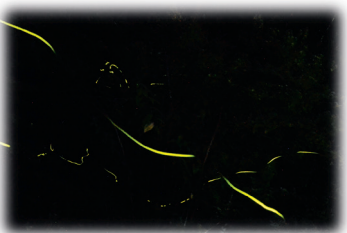


関西電力送配電(株)の京都本部総括グループと小浜配電営業所、若狭町歴史文化課の職員に協力いただき、伝建地区内に25基ある自立型街路灯の内部点検と清掃を行いました。
恒例の「地域感謝月間」として実施されました。

6/中旬

ホタルの乱舞

(熊川宿ほたる生息研究会・熊川地区地域づくり協議会)



6月14日(土)に開催を予定していた「ホタル観賞と陶の灯りの夕べ」は、降雨と強風が予想されたため、残念ながら中止となりました。
今年も6月中旬頃からホタルが飛び交い、幻想的な乱舞が見られました。ほたる生息研究会や児童たちの日頃の育成活動に感謝します。

6/13
14マダーミステリー
宿泊型リアルクトゥルフ

(熊川宿まちづくり特別委員会対応)



CO-FUKU未来技術活用プロジェクトで、3月1日のモニターツアーに続き、マダーミステリーゲームの第2回目が開催されました。
「道響に轟く」は、熊川宿で行われるリアルクトゥルフ体験コンテンツ。熊川宿と山座熊川がリアルワールドゲーム(現実世界でフィールドを歩き回り、ストーリーを楽しむ体験型ゲーム)の舞台になります。
シナリオ・ゲームデザインはMATH-GAMEが担当。緻密に練り上げられた物語とリアルな舞台が融合する唯一無二の体験型ミステリーです。
今回2公演を開催予定でしたが、荒天が予想されたため、1公演が行われました。
次回は11月開催予定です。

6/29

七夕飾り

(熊川宿まちづくり特別委員会)



真夏を思わせる日差しのもと、七夕の飾り付けを行いました。皆さんの願いを込めた短冊や飾り物に、藤井町並み対策部長に雨対策のパウチ加工をしてもらって、みんなでワイワイ楽しく元気に飾り付けができました。
この日はダンスイベントやマルシェもあり賑わいました。

